

令和4年度第1回長南町まちづくり委員会会議録

令和4年9月28日
庁舎分館第1会議室

出席者：岩瀬委員、板倉委員、唐鎌委員、大森委員、川崎委員、武田委員、松崎委員
鈴木委員、古市委員、内村委員
町側出席者：平野町長、(生涯学習課) 風間課長
事務局：(企画政策課) 河野課長、田中主幹、渡邊課長補佐、大村
欠席者：吉野委員、中橋委員、大木委員

1. 開 会 (事務局 渡邊) 10:00

2. 新任委員紹介 (事務局 渡邊)

【2名の新任委員の紹介】

区長会長 大森委員

千葉興業銀行営業支援部公務渉外室長 川崎委員

3. 町長あいさつ (平野町長)

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にご苦勞様でございます。日頃より、本町のまちづくりに、特段のご尽力をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

本日の議題としましては、令和元年度に審議をおこない、協議継続となっております「町中央公民館の建設場所について」となります。2年前と周辺環境の変化等もございますので、再度皆様に協議、検討をしていただき、ご審議をお願いしたいと考えております。今後とも町当局にいっそうのご支援をお願い申し上げまして、簡単ではありますが、あいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いたします。

4. 議 題 (武田会長)

※長南町まちづくり委員会設置条例第5条により武田会長を議長とし進行

(1) 町中央公民館の建設場所について

(2) その他

(1) 町中央公民館の建設場所について

武田会長：皆様のご協力をいただくなかで進行していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。早速ですが次第のとおり進めさせていただきます。
議題（1）町中央公民館の建設場所について事務局より説明をお願いします。

事務局河野：会議資料1を用いて説明。

武田会長：事務局からの説明が終わりましたが、説明の中で何度か複合施設という言葉がでていますが、町中央公民館の建設場所であるのか、複合施設の建設場所であるのか明確にするため、今回の議題の通り町中央公民館の建設場所という認識でよろしいか。

事務局河野：はい、現在は中央公民館の建設場所として考えておりますが、将来的に公民館の中に子育て交流館や資料館の機能を持たせることも考えておりますので、複合施設という言い方も使用しました。今すぐにということではないので、本議題通り中央公民館の建設場所という認識で協議していただきたい。

武田会長：委員の皆さん、議題は町中央公民館の建設場所と書いてありますが、将来的には複合施設となり得る可能性もあるということをご理解いただいた上でご審議いただきたいと思っております。

板倉委員：今、会長が言ったように、中央公民館であるのか複合施設であるのか、本来であれば、この委員会ですどのような使い方をするのかを協議し決めていくのが、場所を決めるより先ではないか。

武田会長：板倉委員より意見がありました、他の委員の皆さんで意見がありますか。

大森委員：建設場所としては宿中でも良いとは思いますが、避難施設としての位置付けとして、災害面での問題(裏に河川あり)と駐車場のスペースの確保等はどう考えているのか。

事務局河野：まず駐車場の問題は、敷地面積はたしかに限られてはいるが、建物の建て方により駐車場のスペースを確保できると考えている。また、災害面に関しては、建設する前に、災害対策を十分に検討した上で建てたいと考えている。

唐鎌委員：町の活性化を図るために、移転し建てるというような話もわかりましたが、町中は道路幅が狭く、歩道がない、宿中に移転したときに一本の道に車が集中する、周りに保育園等もあるといった安全面のことを考えると、今の場所がいいというわけではないが、宿中への移転を考えるのであれば、まずは道路の問題を解決しなければ厳しいと思う。

事務局河野：町としても今ある道路を広くするのは厳しいと考えている。道路環境に関しても、できる範囲で安全面に配慮をおこない、長南集学校との連携等も考えながら町の賑わいの創出、活性化に取り組んでいきたい。

内村委員：今具体的な話がでていると思うが、中央公民館の目的といった定義をはっきりとさせたほうが良いと思う。なぜかという、それがないと全体最適で物を考えられない、部分最適になってしまう可能性があると思う。今回ゼロベースからとのことなので、まず目的は何なのかをはっきりとさせ、話していったらどうかといった提案です。

武田会長：中央公民館の位置付けがなければ、方向性を見出すのが難しいのではとの意見が出ましたが、確かに今後中央公民館で何を行いたいのか、どういう施設にしていきたいのか、分からないことには今後まちづくりとしてどうなのかと思う。時間をかけてでも方向性を明確にした後、進めていったらどうかという意見が出ておりますが、その辺について他の委員の皆さんはどうお考えですか。

板倉委員：方向性が分かれば、どのような年代が利用をするのか、駐車スペース、交通量等の細かい情報も見えてくると思う。漠然と場所から決めるのではなく、委員会の中で方向性から決めるべきであると思う。

武田会長：どういった物を建てるのか本当のゼロから考えていこうという意見ですが、他の委員の皆さんはどうお考えですか。

松崎委員：本当のゼロから中身を考えていったほうが良いと思う。先に場所だけ決めると後から、使い勝手が悪いなど様々な問題が出てくる可能性がある。避難所という位置付けをした場合に、本庁舎との連携を含めゼロから中身を検討していった方が良いと思う。

川崎委員：目的をはっきりとさせてから行なったほうが良いと思う。

武田会長：今いただいた多くの意見がゼロからということで出発点から、どういう施設を作るのか、この委員会で考えてからの方が良いとのことでしたが、いかがでしょうか。

事務局田中：今までお話しいただいた内容とは本末転倒になってしまうが、中央公民館の中身の検討は担当部局である生涯学習課の協議会等でおこない、まちづくり委員会では場所の選定を審議していただけたらと思う。

武田会長：物事にはきちんとした順序だてを行わないと、後になってどうしてそうなったのかということになると思う。いきなり場所を決めても、後々聞かれた際に誰も説明が

できませんし、責任を取れない。やはり順序だてをしっかりと行いきちんと考えて進めていくことが町民のためであると考えます。

町 長：今議論をお願いいただいていることは、既存の公民館があるが、それをそのまま残したほうが良いのか、新たに他の場所に建設したほうが良いのか議論していただきたい。審議の中で、新たに建設したほうが良いという結論になれば、そこに複合施設として作るという構想を持っているという話です。

武田会長：既存の公民館を改修してそのままの場所にするのか、新しく他の場所に建設するの
かといったお話しということですね。

町 長：はい。

武田会長：ではそのような議題と捉えて議論していこうと思います。それでは本日の議題は変更となります。

【議題（１）変更】

「既存公民館の改修又は複合施設の新規建設場所について」

唐鎌委員：既存の公民館はだいぶ古いが改修できるのか。

事務局河野：耐震診断で不適となっている部分について大規模改修をおこなう考えです。

唐鎌委員：新しい場所に建てるのであれば、今の公民館の規模で建てるつもりか。

事務局河野：どの程度の規模にするのかは、今後検討をしていく中で決めていく考えです。

武田会長：既存の物を改修するには改修費がいくらかかるのか、新しく建てるのであれば建設費はいくらかかるのか金額を示すこと、その財源はどこから捻出するのか示す必要があります。それらがないと判断できないと思う。

町 長：町としては長南町のにぎわいの取りもどし、町全体の活性化のため、公民館を建て替えて複合施設とし、まちづくりの中心となる拠点とすることを考えています。その際の財源は補助率の良い過疎債でまかなう予定です。既存の公民館の大規模改修をおこなうのであれば、一般財源しかないと考えます。長南町の将来のことを考えると、移設して複合施設とし、その周辺を活性化させるということが、町を変える一つの大きなチャンスであると思う。その複合施設の建設場所として町中が良いのか、他の場所が良いのかは別として、複合施設とすることに大きな目的を持っています。町全体のことを考えた上で、このまちづくり委員会で議論していただければと思います。

松崎委員：確認ですが、今計画を示されている土地は町所有地であるのか、それともこれから取得を考えている土地であるのか。

町長：あくまで今現在考えている土地であり、所有者は町ではなく個人の所有地となっています。

武田会長：登記簿謄本上で町の土地ではないということで、移設するのであれば、土地取得費も予算に入るということでよろしいですか。

町長：はい。土地取得についてはこれからです。

武田会長：それでは既存の公民館を建て替えた場合と、新たに移設した場合に土地取得費も含めてどのくらいの予算になるのか、はっきりと金額をださないと判断できませんがそれはありますか。

生涯学習課長：令和2年度のまちづくり委員会でお答えした内容となり、あくまでおおよその見込みとなりますが、大規模改修ではおおよそ5～6億ぐらい、同じ場所に新しく建設した場合にはおおよそ9～10億ぐらい、そこから移設した場合には土地取得費、外構工事、地盤改良、駐車場の整備等を含め、建設費の他におおよそ5億ぐらいかかる見込みです。あくまで現状のおおよその見込みとなることをご理解ください。

武田会長：見積りをとったわけではないので、おおよその見込みとなりますが、この費用の中で全てが過疎債の対象となるかわかりませんが、約7割が国の方から、3割は借金です。そのことも考えて議論していこうと思います。それでは議論していこうと思いますが、だいぶ時間もたっているので、このまま議論を続けるか、または仕切り直しをするか、いかがでしょうか。

岩瀬委員：皆さんから様々な意見が出ているので、基本的な方針とフローを作らないと時間だけが長引いていくだけだと思う。先程、町長が言ったように今後どのようなまちづくりをおこない町全体の活性化を考えていくのか、もう少し事務局の方で整理をして、資料を作成していただき議論していったほうが良いと思う。

武田会長：それでは今話した内容を事務局のほうで整理し、近々で再度まちづくり委員会を開くといった形でよろしいでしょうか。そのような形のほうが上手く議論できるのではないかと思います。

委員各位：はい。

事務局田中：確認ですが、フローとはどういったイメージで作成すればよろしいですか。

岩瀬委員：論点を整理しますと、まずは公民館にするのか、複合施設とするのかを考え、予算的なことについては規模が決まらなるとわかりませんが、概算をだしていただき、その中で波及効果が一番大きいのはどういった形としたときか、要するに町に及ぼす経済効果や、町に活力を及ぼす効果が高いのか、そこまで踏み込んでいかないと論点整理とはならないと思う。当然その中で、気候の温暖化により災害も増えていきますし、長南町は中山間地であり崖下に住宅地もあることから防災面について、また今後住みやすい町を作っていくために、ここであるという場所をあげていただかなければ、審議はできないと思う。

事務局田中：それでは基本的な方針を整理する中で、その流れをわかりやすいようにまとめるという意味合いでのフローの作成という解釈でよろしいでしょうか。

岩瀬委員：はい。

町長：まちづくり委員会に答申をしているのは、町全体の拠点として複合施設を作ったらどうかという提案をしておりますので、そこを踏まえて議論していただければと思います。

武田会長：複合施設というところがポイントになりますので、そこを事務局で整理して準備していただきたいと思います。
それでは本日結論は出ませんが、議題(1)についてはこれで終了とします。

(2) その他

武田会長：その他についてですが、事務局のほうで何かありますか。

事務局渡邊：特になし。

武田会長：それでは、本日はこれで終了といたします。
これで、議長の任を解かせていただきます。
皆様のご協力ありがとうございました。

渡邊補佐：会長ありがとうございました。
以上で、本日の令和4年度第1回長南町まちづくり委員会は、終了いたします。
ありがとうございました。

5. 閉会 11:35